

道路改良

町道加持橋川線の改良

担当課が現地確認をした／町長



あぜち 陸地 議員
かすひろ 一弘

ないかんと思うが、町の姿勢を問う。

答

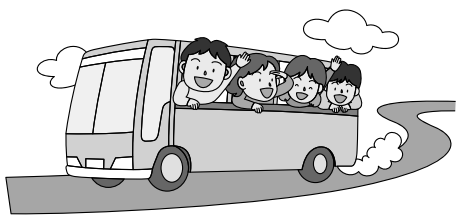
大西町長

浜田まちづくり課長

担当課が現地の確認は行っており、施行の必要性は感じている。改良の時期については、町全体の町道管理の中で対応していきたいと思っている。

問

町道、加持橋川線の橋川部落の加持分岐から峠の切り抜きまでの503mは30年前に舗装されたもので、路面が傷んで河原のようになった所が多くあり危険であるので、峠までの503mの舗装をすべきと思う。ここは人も少ないから過疎になり、車の台数も少ない。しかし、人が減るけん過疎対策をやらにゃいかん。過疎対策をやるのが地方公共団体だ。住民の生活を守るためにはこういところをやら



県道改良

県道大用大方線の改良 県へ要請をするか

県土木へ強く要望／まちづくり課長

車を道路の広い所でよけたり、道路の丘の広い所によけて自動車を通るのを待って通っている状態だが、ここは崩落がくるので道路の拡張工事をすべきと思うが改良の要望を県へするつもりはないか伺う。

答

浜田まちづくり課長

県は1.5車線の改良を行っており、この線の改良箇所は地元と協議をした、23工区を優先的に整備している。ただ、現地を確認したところ、ロックネットやワイヤーの支持力が無い等、危険な状態であったので、今年度の県土木との現地見回りのときに、強く要望していく。

問

大屋敷の県道は自宅前を通っている。この道路の幅は2m80cmで普通車のトラック、ワゴン、小型バスは何とか通っているが、大型のトラックは危険で通るような道路ではない。歩行者も自転車も、車が通り過ぎるのを待ってから通っている。普通車のトラック等が通るときは道路いっぱいになるため、歩行者も自動

